

2013年11月26日
株式会社ニレコ(6863)

2014年3月期第2四半期決算説明会 主な質疑応答

Q1：「受注を目指す」や「開発を進める」といった表現が目立つが、具体的な受注や開発のスケジュール目標は社内で設定しているのか？

A1：当然、予算を組む中で四半期ごとのスケジュールを設定している。

Q2：魚選別センサーの製品化に向けた進捗はスケジュールどおりか？

A2：対象となる魚の季節に合わせた製品化に向け、スケジュールどおりに進んでいる。

Q3：売上原価の改善傾向が続いているが、具体的なその要因は何か？

A3：去年から外部コンサルタントを入れて、低コスト生産プロジェクトというのを実施している。少量多品種な当社事業の中でも、ウェブ事業は見込み生産型の事業であり、これにターゲットを絞り、開発から生産までのリード・タイムの短縮や無駄なコストの削減といった活動を続けている。総額で1億円程度の削減を目標としており、今現在はまだその途上だが、達成に向けて現在も継続推進中である。

Q4：リチウムイオン二次電池市場に少し動きが出つつあるとの話だったが、今後の同市場に向けた事業展開の見通しは？

A4：昨年度の12月ぐらいから受注が鈍くなっていた。充電設備などのインフラが整わないこと、電池の性能がまだ十分ではないためにガソリン車と比べて航続距離が短いことなどの理由により、なかなか電気自動車が普及しないことがその背景にあり、設備投資が止まっていたためだ。このような状況がこれまで続いてきたが、ここに来て検査機事業の無地検査装置などに対するサンプル・テストの要望が増えてきている。これから少しずつ動きが出てくるのではないかと期待しているが、まだ市場の見通しを読み切れないところがあるので、中長期的な売上規模の見極めにはもう少し時間が必要。

以上